





園だより

2022年7月
尚徳福祉会 馬橋保育園
辻 敦美

暑さも日々増していき、本格的な夏もすぐそこまで来ているようです。先月から水遊び、プール活動が始まりましたが、水の感触を味わいながら楽しく行っている様子が見られます。新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向ではありますが、まだまだ予断を許さない状況であり、また、熱中症にも気を付けなくてはならない季節です。保育園は、大切なお子様の命を守ることが最も重要な役割であり、そのためにも子どもたちにとって安全・安心な生活の場でなくてはならないと思っております。今月も子どもたちが「楽しい」と思える経験が安全に行えるよう、私たちがやるべきことや留意しなくてはならないことを職員全員で話し合い取り組んでいきます。

 絵本の読み聞かせは子どもの心を育む大切なコミュニケーション 




私は本が好きで、本は心に栄養を与えてくれるものだと思っています。今は、朝の通勤電車の中が読書タイムであり、通勤時間が長いことでじっくりと本の世界に入りこむことができる貴重な時間となっています。ジャンルは様々ですが、本屋で手にするものは心の赴くままにインスピレーションで「読んでみたい」と感じるものを選んでいますが、ここ数年は人の心の動きや美しい情景が書かれているもの、エッセイを手にとることが多いです。子どもの読書活動は「絵本」から始まりますね。乳幼児期の絵本はたくさんあり、良い絵本を選ぶのに迷われることもあるかと思いますが、子どもが一番求めていることは、大好きな大人に絵本を読んでもらうことではないでしょうか。絵本の読み聞かせのメリットは、絵本を通して一緒に時間を共有できることや、共通の楽しい体験をすることで心が安定し満たされることではないかと思います。個人差はありますが、生後10か月くらいになると大人の言葉を聞きながら絵本を楽しむことができるようになると言われていています。しかし、まだ絵本は赤ちゃんにとって遊びの一つなので、無理に始めから終わりまで読み聞かせをしようしたり、集中して見ていないからと焦ることはありません。絵を見ながら、言葉を聞きながら楽しさや喜びを繰り返し味わうことで言葉を具体的なイメージで心に描くことができるようになります。そこから少しずつ年齢とともに話の流れを理解し、起承転結のある「物語り絵本」を楽しむことができるようになります。私は、ぐりぐらの絵本コーナーで、保護者の皆様とお子様と一緒に本を選ぶ姿や読み聞かせをしている光景が大好きです。これからも、親子の大切なコミュニケーションの時間となるよう、様々な種類の絵本をたくさん揃えていきたいと思っています。また、私たち保育士も絵本の読み聞かせが子どもたちの心を育み、そして、彩りを与えられるよう取り組んでいきたいと思っています。

～今月の行事予定～

- 5日(火) 杉並第六小学校との交流会
(5歳児クラス)
 - 7日(木) 七夕の会
 - 12日(火) 乳児計測
 - 13日(水) 幼児計測
 - 14日(木) 英語で遊ぼう(幼児クラス)
 - 25日(月) おはなし会(幼児クラス)
 - 28日(木) 英語で遊ぼう(幼児クラス)
 - 29日(金) 避難訓練
- ※4日(月)～6日(水) 職場体験学習
(和田中学校 生徒3名来園)
- ※12日(火)～14日(木) 職場体験学習
(高南中学校 生徒3名来園)
- ※8日(金) 杉並第六小学校の先生より就学のお話



～お知らせ・お願い～

-  水遊び、プール活動を安全に行うためにも朝のお子様の体温や体調を見てからご判断ください。
-  お迎えの際、お子様から目を離さぬようお願いいたします。お子様が門から飛び出してしまうと車や自転車と衝突する危険性があります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
-  職場体験学習について
杉並区では働くことを体感し、将来の生き方を考える機会として、職場体験学習を行っています。新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが再開となりましたので生徒さんを受け入れることになりました。何か気になる事がありましたら園長までお声掛けください。